



六甲カトリック教会 教会報



道

主任司祭 加藤 信也 S. J.



「大きくなったら何になりたい？」私たち大人は子供たちにそんな質問をすることがあります。子供の頃の皆さんは、何とお答えになったでしょう？ その夢は実現されたでしょうか？

私も姪に何度か質問してみたことがあります。「おかあさん」という答えも幼稚園に通う頃には「幼稚園の先生」となり、小学校に通う頃には「ケーキ屋さん」と変わっていく、これも成長のしるしであり、少しずつ世界が広がっていくことの表れでもあるのでしょう。結局この彼女は母親にはなったものの、幼稚園の先生にもケーキ

屋さんにもなりませんでした。

私たちは、自分の望みを持ちそれを実現することを「幸せ」だと考えます。私自身もそのような価値観の中に生まれ育ち、子供の頃からの夢を実現したいと長い間望んでいましたが、幸か不幸かその夢は実現されることなく、イエズス会の司祭として今、皆さんと共にいます。

自分の夢を追っていた頃、私は不思議な人たちに出会いました。自らの夢を実現するためではなく、隣人のために生きようとし、家族のもとを離れて遠い見知らぬ国で一生を過ごすというのです。中には、二度と祖国の地を踏むことなく一生を終えていった人もいました。

司祭修道者に出会ったことがなかった私は、そのような生き方を目の当たりにして少なからず動揺しました。それまでの価値観が崩れていくかのようでした。しかしそれでいて新しい世界が開けていく清々しさもありました。

その後の私は、そんな世界に足を踏み入れていくことになります。カトリックについて学び、洗礼のための勉強を始め、数年後には受洗しました。その先には、イエズス会に入会して司祭になるという次の段階があるのですが、振り返ってみれば、道が分かれるときには、いつも助けてくれる人たちがいたように思います。

カトリックの家庭に生まれたわけでも、イエズス会の学校で学んだわけでもない私が今、イエズス会の司祭として働いている、不思議な道のりではありました。この不思議な道のりを、神は何人もの人々を使って私のために準備されたようです。いつの世にも共通した神の手法であるのでしょう。

・教皇5月の祈りの意向は「**労働条件**」です。次のように祈りましょう。

「教皇の意向：一人ひとりが仕事において充実感を覚え、家族の尊厳が保たれ、人間性豊かな社会となりますように。」

(フランシスコ教皇は先々まで「祈りの意向」を残していただきましたが、復活祭翌日に帰天されました。)

2025年度 第1回地区役員会議事録

日時 2025年4月13日 11:30～12:30

場所 第1・2会議室

出席者：加藤主任司祭、堤 小教区評議会議長、地区役員

1. 加藤主任司祭挨拶

・六甲教会に赴任してまだ時間がないので、六甲教会の全体像をつかめていないが、地区役員会に出席して教会活動を支えている皆さまに感謝いたします。

(出席者全員が自己紹介)

2. 報告事項

1. 地区会再編プロジェクトチーム発足の経緯を報告

2. 地区会再編プロジェクトチーム 2025年4月発足メンバー紹介(順不同)

三木 宏夫(小教区評議会書記 灘南)、武藤 亜希子(東灘北2・芦屋)、
橋岡 尚美(東灘北1)、藤井 敦子(婦人会会長 灘北2)、
堤 福生(小教区評議会議長 東灘南)、井川 直哉(地区会役員代表 東灘北2・芦屋)

3. 教会行事・連絡網配布(3/15～3/23)

- ・来年度の配布期間は、受取者を多くするため配布期間を長くすることを検討する。
- ・受領チェック用紙の規格・様式を統一する。(A3サイズ、五十音順の徹底等)
- ・ポスティングにより不在が判明した場合は、事務に連絡すること。

4. 英神父様・加藤神父様歓送迎会(4/6) 10時ミサ後～13時

多くの方が参加した。お皿は200枚用意した。

サンドイッチ、おつまみ、ケーキ、お菓子等を用意したが少し足りなかったかもしれない。

お寿司は提供しなかった。

3. 検討事項

1. ご復活のお祝い会(4/20) 10時ミサ後

地区会役員全員で対応する。予算は15万円、サンドイッチは多めに用意する。

ビール、ソフトドリンク、ケーキ、お菓子等提供予定。

2. 堅信のお祝い(6/15) 10時ミサ後

教会全体でお祝いをする。地区会が食事を用意し、飲み物はソフトドリンク中心にする。

司会進行は小教区評議会、予算8万円(小教区評議会負担)。

詳細は6/8地区役員会にて決定する。

3. 地区交流会(7/6) 10時ミサ後

信徒全員が各地区に分かれて交流する。サンドイッチ、ソフトドリンクは地区会が負担、アルコールは有料、持込歓迎、詳細は6/8地区役員会にて決定する。

その他

1. イグナチオ喫茶(毎月第1日曜日)

- ・2022年12月にスタート、コーヒー代は婦人会予算で対応
- ・2025年3月で会計を締めて30,000円を教会に寄付した。残金は3,041円
- ・イグナチオ喫茶手順書を配布して藤井婦人会会長が手順を説明
- ・当番：5/4 灘西・中央 6/1 灘南・神戸西 7/6 地区交流会 8/3 東灘南

次回開催日 6月8日(日)12:00(年次報告会后)

以上

私の好きな聖書のことば



「喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣きなさい。互いに思いを一つにし、高ぶらず、身分の低い人々と交わりなさい。自分を賢い者とうぬぼれてはなりません。だれに対しても悪に悪を返さず、すべての人の前で善を行うようにこころがけなさい。できれば、せめてあなたがたは、すべての人と平和に暮らしたさい。」（ローマの信徒への手紙 12章15-18節）

コロナ禍に知り合って毎朝ラジオ体操で一緒していた方が先日亡くなりました。膀胱癌と分かってわずか3ヶ月でした。その方がご自分の告別式の為に用意された聖書の御言葉です。せめて自分は平和の種を撒ける人間でありたいと思います。

幼きイエズスの聖テレジア 齊藤 節子

新旧主任司祭歓送迎会（4月6日）

加藤信也神父さま、ようこそ！ 英隆一郎神父さま、お元気で！

新型コロナがようやく終息かという、2022年4月に六甲教会に赴任してこられた英隆一郎神父（写真右）は神戸出身。イエスは「預言者は自分の故郷では敬われないものだ」（ヨハネ4章43節）という言葉を残しておられますが、英神父にとってはそうならなかったようです。

3年という短い在任期間中に、これまで停滞していた教会の懸案事項などに精力的に取り組まれ、“出向いていく教会”、活気のある教会に育てて下さいました。まずは共同体で活動を担う信徒の世代交代を目指されたのですが、実はこれは不発でした。信徒の高齢化はどこの教会でも共通した悩みであり、六甲教会もまた同様だったからです。そこですぐに「身の丈にあった活動」「小さな集まり」を充実させる方向に転換、結果としてそれがたいへん功を奏しました。また、教会からの情報発信を重視されてのSNSチーム立ち上げ、手話ミサの実現、地区会再編への道筋など、たくさんのご指導をいただきました。英神父は“（この教会には）10年くらい居たような気分”だと満足を示されました。そして、信徒による教会活動が充実してきていることから、“後ろ髪を引かれることなく去っていける”と笑って挨拶されました。次の赴任地は、山口県長府教会です。（名物のトラフグなど食べ過ぎませんように！）



次に加藤信也（かとう・のぶや）神父（写真左）は、「英神父の言う若返りに逆らうようで申し訳ないが、彼よりだいぶん年上で…」と笑いで場を和ませ、挨拶されました。そして、加藤神父と英神父、六甲教会は不思議な縁に恵まれていることが分かりました。お二人は同じ日にイエズス会に入り、同期生だったこと、そのころ人数が多かったイエズス会の寮で二人は同室だったことが明かされました。加藤神父様は叙階後、合計20年間教会におられ、イグナチオ教会、山口教会、祇園教会（広島）を経て、ロヨラハウスで5、6年を過ごされました。90年代に六甲教会で主任司祭を務められたオマリー神父を見送ったとのことでした。そのため、教会での奉仕は久しぶりのこととなるので、4月6日の主日ミサではとても緊張されたとのことでした。今後は信徒のみなさんと共に頑張りたい、いろいろ教えてもらいながら進めたいとお話しされました。



『2024 年度 春の墓参』と新しい刻銘板設置のご報告

最高気温が 20℃を超える日が 1 週間ほど続き、ようやく訪れた春らしい気候に身体が少しずつ順応し始めていた矢先、一転して冬に逆戻りしたかのような厳しい寒さに見舞われた 3 月 30 日（日）、「春の墓参」が行われました。（写真は灌水する英神父）。

予定の正午よりもやや早めに始められた「納骨式」は、聖歌、聖書朗読、参列して下さった皆さんでのお祈りに続いて、聖水によって祝福されたお墓に 14 柱のご遺骨が納骨されました。続いて「墓参の祈りの会」が行われ、共同墓地への献香と聖書朗読の後、参列者全員で「主の祈り」

「アヴェ・マリアの祈り」を唱え、聖歌「主にまかせよ」を歌って閉会となりました。

そして最後に「個人墓地の祝福」が寒風の中で行われ、英神父様と渡辺神父様が、上段からと下段からとに分かれて、それぞれ参列者のおられる墓地の前では一緒にお祈りを唱え、聖水をかけて祝福して下さい、予定されていたすべての行事を滞りなく終えることが出来ました。

また参列された方はお気づきになられたかと思いますが、今回の「春の墓参」から、共同墓地の西側の鉄柵に沿う形で設置された新しい 3 基の刻銘版の使用を開始致しました。2019 年に使用を始めた、霊名、名前、生年月日、帰天日を印字した金属プレート張り付ける様式の刻銘板に空きスペースがなくなったためです。

新しい刻銘板を設置する場所について墓地委員会で検討してまいりましたが、これまでのものと同様に共同墓地の敷地内に建てるとすると、残されている場所は、定期的にお花を植え替えるなどして美しく明るい雰囲気を作り出している花壇の場所を潰すしかありませんでした。そこでさらに検討を重ねた結果、やはり今の花壇を無くしてしまうのは忍びなく、また仮に今回は花壇を潰して建てたとしても、近い将来に建てる場所がなくなることは明白な事実であるとの判断から、設置場所を共同墓地の敷地内に限定して考えなくてもいいのではないかと結論に達し、共同墓地の西側の鉄柵に沿う形で設置したという次第です。（写真右）



ただこれまでの刻銘板に比べて、共同墓地からやや離れた位置に設置されるということで、「新しい刻銘板を利用して頂く方には、何らかの『特典』があった方がいいのではないか。」との英神父様のご意向で、新しい刻銘板は金属プレートを張り付ける様式ではなく、刻銘板に直接お名前などを彫り込む、以前のタイプのものに戻すことになりました。

長峰霊園に行かれた際にご確認ください。ご理解、ご協力のほど、よろしくお願い致します。

なお、次回の「秋の墓参」は、11 月 2 日（日）に実施致します。

墓地委員会 コーディネーター 鍵山 浩三

社会活動部 今月の予定

5 月 2 日（金） 初金ミサ後、社会活動部連絡会 第 4 会議室

5 月 7 日（水） 10 時 手芸の集い 第 1、第 2 会議室

5 月 17 日（土） 10 時半 炊き出し 小野浜グラウンド（中央区小野浜町 3）

・一緒に車で行かれる方は 六甲教会に 10 時集合です。

教会事務室に事前にご連絡下さい。

5 月 19 日（月） 9 時半 ともしび会 教会台所（児童養護施設の子どもたちへのケーキ作り）

2025 年 枝の主日から復活の主日まで



枝の主日

(4月13日)

信徒は祝福を頂いた
枝を手に聖堂へ。



聖木曜日

(4月17日)

洗足式

大人も子どもも緊張
しながら、加藤主任
司祭に足を洗って頂
きました。



聖金曜日 主の受難

(4月18日)

前夜に、祭壇から全てが取り除かれ、
主の受難を待ちます。司祭は入堂後、
平伏の姿勢を取り、神への完全なる
従順を示しました。会衆とともにイエ
スの受難を再現、最後は十字架礼拝後、
沈黙のうちに退堂しました。



復活徹夜祭(4月19日)

復活ろうそくに灯がともりました。
二人が洗礼の秘跡にあずかり
ました。



復活の主日(4月20日)

ごミサのあと、復活お祝いパーテ
ィーが開かれました。多くの信徒
が参加しました。乾杯！

【2025 年 5 月行事予定表】

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
				教会事務 休み	初金ミサ 7:00 10:00 ◎東灘北2・芦屋	聖フィリポ 聖ヤコブ使徒 教会学校休み
4	5	6	7	8	9	10
復活節第 3 主日 手話付きミサ 10:00 イグナチオ喫茶 10 時ミサ 後 小教区評議会準備会 14:00	教会事務 室休み	教会事務 休み			巡礼（細川ガ ラシャ巡礼の 足跡を訪ねて ～10 日） ◎東灘南	
11	12	13	14	15	16	17
復活節第 4 主日 世界召命祈願の日 小教区評議会①11:30 ◎日曜班			聖マチア 使徒 三日月会 総会 11:00			社会活動部 炊き出し (5 月のみ第 3 週)
18	19	20	21	22	23	24
復活節第 5 主日					◎定期清掃	
25	26	27	28	29	30	31
復活節第 6 主日 世界広報の日 子どもとともに捧げるミサ 10:00 防災セミナー10 時ミサ後 財務委員会 14:00					ミニコンサート 10 時半ミサ後 ◎灘北 1・ 北・三田	聖母マリアの訪問 ミサ 7:00 10: 30 ロザリオの祈り 10 時ミサ後 教会学校休み

◎印は掃除当番地区（午前 7 時時点で気象警報が発表された場合は中止）

【編集後記】

◇今年のご復活の日はとりわけ忘れがたい日となりました。サンピエトロ広場を埋めつくした信者に復活祭の祝福を与えられたローマ教皇フランシスコが、その翌日帰天されたからです。“パパ様”は弱い者・貧しい者に寄り添い、世界平和のために積極的に声を上げて下さいました。88 年の人生の最後の言葉は「ありがとう」だったと言われます。言葉を超える存在であったパパ様に、胸の底から感謝の祈りを捧げたいと思います。（N.O.）

次回 6 月号の発行は 5 月 31 日（土）です。
原稿は毎月 15 日ごろまでに、教会受付へご持参
いただくか、FAX、メールをお願いします。
(renraku@rokko-catholic.jp)
皆さまからのご寄稿をお待ちしています。
・教会 SNS チームは、フェイスブック、インス
タグラム、X（旧ツイッター）、YouTube チャンネル
で配信しています。「六甲カトリック教会」で検
索してみてください。丹精込めた、教会のお庭の花
の紹介が加わりました。
毎月の教会報はホームページではカラーでご覧になれます。

六甲カトリック教会

〒657-0061 神戸市灘区赤松町 3-1-21

電話 078-851-2846

FAX 078-851-9023

<http://www.rokko-catholic.jp>

発行責任者 加藤 信也

編集 広報部